単 元 名	Unit 2　　Don't Throw It Away	配当時間	6～9時間
単元の目標	(1) 身近なニュースについて情報を得たり，発信したりしようとする。 (2) o現在完了形の継続用法を用いて身近なことを表現することができる。 o情報をニュースとして伝えることができる。 (3) oリサイクリングマーケットについてのニュースやインタビューを読んで，理解できる。 oレポーターの説明やインタビューを聞いて，その要点をつかむことができる。 (4) 現在完了形の継続用法を理解することができる。		

☆本単元では，中心的言語材料である現在完了形の継続用法を確実に身に付け，運用できるようにさせたい。

また，本文の内容理解を通して，リサイクルに対する意識を高めたい。

①★**SO** 現在完了形（継続）の用法を知り，練習する。 ②★**D(1)** 現在完了形の疑問文を用いて対話をする。 いつからここに住んでいるか友達に聞いてみよう。 評現在完了形（継続）を用いて，身近なことが表現できる。（発表，観察） ③ **D(2)** ペアでの対話文暗唱と現在完了形を用いたコミュニケーション活動に取り組む。 ④★**RC P.16(1)** リサイクリングマーケットについてのニュースを読み取る。また，beenを使った現在完了形の用法を知る。 ⑤★**RC P.16(2)** YTをもとにニュースを伝える文章をつくり，発表する。 ⑥★**RC P.17(1)** インタビューの内容を読み取る。また，本文を参考にして，ペアで対話文を作成する。 ⑦ **RC P.17(2)** ⑥で作成した対話文を発表する。 ⑧★**LP2** ニュースレポート・インタビューの聞き取りと現在完了形（継続）を用いたコミュニケーション活動に取り組む。 ⑨ **単元のまとめ** 学習事項をまとめ，単元テストに取り組む。	①・対話による口頭導入 ・生徒との対話形式の口頭練習 ②・How long have you ～?を用いた対話練習の相手 ③・対話練習における生徒の相手 ・コミュニケーション活動への参加 ④・本文の範読 ・本文に関する英問英答 ⑤・話題になっているニュースや自国の行事などを伝える例文を作成し，モデルとして提示する。余裕があれば，T or Fなども加えて理解を図る。 ・文章づくりのアドバイス ⑥・本文の範読 ・本文に関する英問英答 ・ＪＴＥとのモデル・ダイアログ提示 ・対話文作成へのアドバイス ⑦・発表された対話文へのコメント ⑧・日本と自国とのニュースの伝え方の違いについてのスピーチ ⑨・現在完了形を使った例文の提示

oの③のコミュニケーション活動においては，生徒自身の身近なことに関して対話させるようにし，実際の使用場面を認識させたい。

o⑤⑥では子どもの実態に応じて様々なパターンでつくらせたい。地域・学校のイベントに応じてモデルの一部を置き換えたものや，地域・学校のイベントに応じて伝える項目も自分で考えてつくったものなどが考えられる。

o⑦のコミュニケーション活動においては生徒自身が自由な発想で発表できる活動に取り組ませたい。